

●安全上のご注意



◆ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、十分理解したうえで正しく安全に使用してください。



◆本機をご使用中は、必ず保護めがねを着用してください。切断されたリベットのマンドレルが飛び出し傷害を及ぼす可能性があります。

表示の説明



警告 誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意 誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**△注意**に記載した事項でも重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

△警告

- 充電時、所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合、充電を停止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。充電を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 電池パックの臭気、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた場合は、直ちに使用を中止し、本機あるいは充電器より取り外す。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 定格表示してある電源で使用する。
 - ・直流電源やエンジン発電機、変圧器、昇圧器等のトランス類等では使用しないでください。異常発熱、発火の原因になるおそれがあります。
- 電池パックは、換気の良い所で充電する。
 - ・電池パックや充電器を、充電中に布等で覆わないでください。発熱、発煙、発火等の原因になるおそれがあります。
- 充電器の使用中に発煙、異臭等の異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 電池が漏液したり臭気したりする場合は、直ちに使用を中止し火気より遠ざける。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 電池パック及び充電器を丁寧に扱う。
 - ・電池パック及び充電器を落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
 - ・電池パック及び充電器を分解したり、改造したりしないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
 - ・事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 電池が漏液した場合、素手で液を触らず、以下の処置をする。
 - ・液が目に入った場合、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
 - ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
 - ・液漏れした電池パックは使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になるおそれがあります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
- 使用中に、動作不良、発熱、発煙又は異音等の異常が認められる場合、直ちに電池パックを取り外し、使用を中止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。



必ず行う

△警告

- 専用の純正部品のみを使用する。
 - ・本書及び当社カタログに記載されている純正部品以外のものは使用しないでください。重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 作業場の周囲状況も考慮する。
 - ・事故やけがの予防となります。
- 作業場は、十分に明るくする。
 - ・暗い場所での作業は、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 保護具、保護めがねを常に使用する。
 - ・防塵マスク、安全靴、ヘルメット、聴覚保護具等を適切に利用し、事故やけがを事前に防止してください。
- 部品や付属部品の取り換えは指定の手順に従って行う。
 - ・指定の手順に従わないと、故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 不意な作動は避ける。非作業時は、トリガースイッチに指や物を触れないようにする。
 - ・トリガースイッチに指をかけて運ばないでください。不意に始動して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 使用しない場合、その他危険が予想される場合は、本機のスイッチを切り、電池パックを本体から取り外す。
 - ・不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 保守、点検、部品の交換を行う際は、必ず電池パックを取り外す。
 - ・不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 2個以上の電池パックを連続して使用する場合は、本体を15分程度休止させる。
 - ・本体の温度が過剰に上昇し、火傷をするおそれがあります。



必ず行う



禁止

- 充電器の使用温度範囲外では、電池パックを充電しない。
 - ・正しく充電されないばかりか、電池パックの寿命が短くなります。また、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
- 劣化した電池パックは使用しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを水のような導電体に浸さない。また電池パックの内部に水のような導電体を侵入させない。
 - ・電池パック内部に水のような導電体が侵入すると短絡し、発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 使用済み電池パックは一般家庭ごみとして捨てない。
 - ・捨てられた電池パックがごみ収集車内等で破壊されて短絡し、火災等の事故の原因になるおそれがあります。
- 強い静電気の発生する場所では使用しない。
 - ・異常動作、漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- (+) と (-) とを逆にして使用しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを直接コンセントや自動車のシガレットライターに接続しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを電子レンジや高圧容器に入れる等して加熱や高圧を与えない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを指定機器以外の用途に使用しない。
 - ・漏液、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを取り外す際、電池パックにクリップ、コイン、鍵、ねじ又は釘等の金属類を近づけない。
 - ・電池パックが短絡し、感電、発熱、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックの端子間を短絡させない。
 - ・ピン等の金属類と一緒に持ち運んだり保管したりすると短絡して、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電池パックを火中に投入しない。
 - ・有害物質の発生、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
- 電源プラグやケーブルが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しない。
 - ・感電、発熱、発煙、発火等のおそれがあります。
- 可燃性の液体やガスのある場所で使用したり充電したりしない。
 - ・発煙、発火、爆発等のおそれがあります。
- 雨中や湿った場所又は濡れた場所で、使用したり充電したりしない。
 - ・感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグに触れない。
 - ・感電のおそれがあります。

△警告

- 疲れている場合やアルコール、治療薬等により動作や思考力が低下しているときは使用しない。
 - ・重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 改造はしない。また、分解したり修理をしない。
 - ・本機は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は必ずお買い求めの販売店又は当社にご相談ください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- ほこりや粉塵の多い場所で使用、保管しない。
 - ・内部に粉塵等の異物が入ると、発熱、発煙、発火等、事故の原因になるおそれがあります。
- リベッターの先端をあなた自身又は他の人に向けない。
 - ・予期せずリベットが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- マンドレルコレクター（廃マンドレル用タンク）を取り付けずに使用しない。
 - ・リベットのマンドレルが勢いよく飛び出し、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 適応リベット径以外のリベットをリベッティングしない。
 - ・事故やけがの原因になるおそれがあります。
- ノーズピース、イジェクトパイプの穴をのぞかない。
 - ・切断後のリベットのマンドレルが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- 発煙したときは、煙を吸い込まない。
 - ・身体に害を及ぼすおそれがあります。
- 通風孔をふさがない。
 - ・やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
- 通風孔から出る熱風を直接肌に当てない。
 - ・高温になっており、火傷をするおそれがあります。
- 作業直後は金属部分に触れない。
 - ・高温になっており、火傷をするおそれがあります。



禁止

△注意

- 充電器は、注意深く手入れをしてください。
 - ・充電器の電源ケーブルは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店 又は当社に修理を依頼してください。感電やショートして発火のおそれがあります。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 充電器を使用しない場合は充電器の電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。
- 電源プラグ及びコンセントにたまったほこりや汚れは、乾いた布でふき取る。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。
- 充電時以外、電池パックは充電器から抜く。
 - ・感電、火災等の事故の予防となります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
 - ・コードを持って抜くと感電、短絡の原因になるおそれがあります
- 使用環境に合った延長コードを使用する。
 - ・屋外で充電する場合、キャプタイヤコード又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 油断しないで十分注意して作業を行う。
 - ・工具を使用する場合は、取扱方法、作業方法、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
 - ・疲れている場合は使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。



必ず行う

△注意

- 損傷した部品がないか点検する。
 - ・使用前に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の取付け状態、部品の破損、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・トリガースイッチの操作で始動及び停止の出来ない場合は、使用を中止してください。異常動作により、事故やけがの原因になります。
- 使用しない場合は、きちんと保管する。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所又は鍵のかかる所に保管してください。事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 作業場は、いつもきれいに保つ。
 - ・散らかった場所や作業台は、事故の原因になるおそれがあります。
- 雷が発生している場合は充電せず、電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・落雷による故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 適切な服装で作業する。
 - ・長い髪は帽子やヘアカバーで覆う等し、だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。巻き込まれ、けがの原因になるおそれがあります。
- 購入後、初めて使用する際に、大きなさび、損傷、異臭、発熱又はその他異常が認められた場合は、使用を中止する。
 - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。



必ず行う



禁止

- 高所作業の際は下に人がいないことを確認する。
 - ・材料、本機又は切断後のリベットのマンドレルの落下等、事故の原因になるおそれがあります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。
 - ・守らないと火傷をするおそれがあります。
- 充電器の電源ケーブルを乱暴に扱わない。
 - ・電源ケーブルを持って充電器を運んだり、電源ケーブルを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
 - ・電源ケーブルを熱、油、角のものがつた所に近づけないでください。
 - ・電源ケーブルが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷する事がないように充電する場所に注意してください。感電やショートによる発火のおそれがあります。
- 温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車中等）に保管しない。
 - ・劣化の原因になり、感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
- 無理して使用しない。
 - ・安全に能率よく作業するために、能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は事故の原因になるおそれがあります。
 - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発熱、発煙、発火のおそれがあります。
- 無理な姿勢で作業しない。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- フレームヘッドを外した状態で本機を操作しない。
 - ・指等をはさみ、けがをするおそれがあります。
- 切断後のリベットのマンドレルを散乱させない。
 - ・マンドレルが散乱すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- LED ライトの光を直接目に当てない。
 - ・LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になるおそれがあります。
- 子供を近づけない。作業者以外、工具や充電器、電源ケーブルに触れさせない。
 - ・トラップ、事故やけがの原因になるおそれがあります。
- 不要な油や異物がついた状態で使用しない。
 - ・落下して事故になるおそれがあります。また、内部に侵入すると、感電、発煙、発熱、発火、破裂のおそれがあります。かわいた布などで除去してください。